

令和3年度戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の実施方針

令和3年2月25日  
ガバナリングボード決定

「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針」（平成26年5月23日 総合科学技術・イノベーション会議決定）に基づき、令和3年度に研究開発を実施する対象課題、プログラムディレクター、研究開発計画の基本的事項及び対象課題ごとの配分額を次のとおり定める。

また、年度途中で機動的に対応すべき事項が生じた場合等に対応するため13.38億円留保する。

配分額：259.21億円

対象課題	プログラムディレクター	研究開発計画の基本的事項	配分額 (億円)
フィジカル空間デジタルデータ処理基盤技術	佐相 秀幸 富士通株式会社シニアフェロー	本分野における国際競争力を維持・強化するため、高機能センシング、高効率なデータ処理及びサイバー側との高度な連携を実現可能とする世界最先端の基盤技術を開発し、社会実装する。	17.50

※「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針」（最終改訂平成31年2月27日総合科学技術・イノベーション会議決定）に基づき、上記配分額とは別に、SIPの実施にあたって必要となるPDに係る経費、ガバナリングボード、推進委員会及び有識者による委員会の運営に係る経費、機動的な調査に係る経費等を事務局運営経費として、7.41億円充当する。

(注) 上記課題への配分額及び事務局運営経費は政府予算成立をもって確定し、それぞれ各管理人等、内閣府に配分する。